改定日　2020/02/03　　整理番号102-190

1. 化学物質等及び会社情報

発売元	：	株式会社文化雑巾
住　所	：	埼玉県鴻巣市広田3538
電話番号	：	048-578-8953
FAX番号	：	048-578-8954
緊急連絡先	：	同上

２．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	：	区分1
生殖毒性	：	区分1Ｂ
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	：	区分2（呼吸器系）

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性	：	区分3

※記載の無いものは、分類できない、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語　：　危険

危険有害性情報　：　重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

水生生物に毒性

注意書き／安全対策　：　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。

取扱い後には皮膚をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

飲食または喫煙をしながらこの製品を使用しないこと。

環境への放出を避けること。

注意書き／応急処置　：　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。
皮膚を流水・シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の手当て、診断を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

注意書き／保管　：　換気の良い冷暗所で保管すること。施錠して保管すること。
注意書き／廃棄　：　内容物、容器、廃液を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物

化学名	CAS 番号	化審法	安衛法
水酸化ナトリウム（1.06%）	1310-73-2	（1）－410	公表
ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｾｶﾝﾀﾞﾘｰｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ（2.2%）	84133-50-6		
陰イオン性界面活性剤（1～5%）	非開示		
リン酸塩（1～5%）	非開示		
グリコール系溶剤（1～5%）	非開示		
染料（微量）			
水	7732-18-5		公表

危険有害性成分　：　水酸化ナトリウム、ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｾｶﾝﾀﾞﾘｰｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ

４．応急措置

眼に入った場合　：　直ちに、多量の流水で15分以上注意深く洗うこと。
洗眼はまぶたを開き水が全体にいきわたるようにする。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合　：　直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を石鹸で十分に洗い流し、刺激が残っていれば医師の診断を受ける。

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪ければ医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　：　無理に吐かせない。直ちに口をすすぎ、大量の水を飲ませる等の処置をするとともに医師の手当て、診断を受ける。
但し、患者の意識がない場合には口から何も与えてはならない。

５．火災時の措置

消火剤　：　水、泡、粉末、炭酸ガス

使ってはならない消火剤　：　棒状注水

特有の危険有害性　：　火炎によって刺激性、腐食性または有毒ガスを発生することがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消化方法　：　火元への燃焼源を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器および周囲に散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業は風上から行う。
容器が熱に晒されている時は移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去する。
出来る限り流出物が配水管または水路に入るのを防ぐ。

消火を行う者の保護　：　適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

：　作業の際には保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。

環境に対する注意事項

：　河川等に排出され、環境中へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和　：　少量漏出の場合、ゴム手袋を着用し希硫酸等で中和後、ウエス等で拭き取る。
残りは大量の水で洗い流す。
大量漏出の場合、拡散を防止する為、土砂でせき止めし乾燥砂等を使い回収する。
残りは希硫酸等で中和後、大量の水で洗い流す。
危険でなければ漏れを止める。

二次災害防止策　：　すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　必要に応じ、適切な保護具、保護眼鏡、保護手袋を着用する。

局所排気・全体換気　：　「８．暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項　：　周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。（禁煙）
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え、または引きずる等の取り扱いをしてはならない。
屋内で使用する場合は換気に注意すること。
取り扱い後は、よく手を洗うこと。
容器の移動並びに開封時には注意して取り扱い、漏出や飛沫の飛散を防止すること。

保管

適切な保管条件　：　直射日光、40℃以上の高温、-5℃以下の低温を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

接触回避　：　強酸性物質との接触を避ける。

混触危険物質　：　「１０．安定性および反応性」を参照。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策　：　この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

管理濃度　：　未設定

許容濃度　：　日本産衛学会　水酸化ナトリウム：2 mg/m3（最大許容濃度）
ＡＣＧＩＨ　水酸化ナトリウム：TLV-STEL　Ceiling 2mg/m3

保護具　：　適切な呼吸器保護具／保護眼鏡／保護手袋／保護衣を着用する。

衛生対策　：　作業中は飲食、喫煙はしない。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

９．物理的及び科学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）

形状　：　液体

色　：　ピンク色透明

ｐＨ　：　13.5（±0.5）

融点・凝固点　：　データなし

沸点、初留点および沸騰範囲　：　データなし

引火点　：　データなし

爆発範囲　：　データなし

比重（密度）　：　1.065 ± 0.02（25℃）

溶解度　：　水に易溶

オクタノール／水分配係数　：　データなし

自然発火温度　：　データなし

粘度　　：　データなし

１０．安定性及び反応性

安定性　　：　常温及び通常の保存条件下で安定。

危険有害反応性　　：　強酸性物質と激しく反応する。
強酸化性物質と反応する。
金属を腐食して水素ガスを発生し、空気と混合して引火発することがある。

避けるべき条件　　：　直接日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある環境。
強酸性物質、強酸化性物質、金属。

混触危険物質　　：　強酸性物質、強酸化性物質、金属。

危険有害な分解生成物　：　COx、水素、リン化合物

その他　　：　情報なし

１１．有害性情報

急性毒性　　：　情報なし

皮膚腐食性／刺激性　　：　製品についての情報：つなぎの法則により(区分１)とした。
成分についての情報：水酸化ナトリウム
ヒト皮膚に対して 0.5%以上で irritating(SIDS,2002)、
severe corrosion (DFGOT vol.12,1999)を引き起こす。ブタ皮膚に
対して 8%以上で corrosion(SIDS,2002)、ウサギ皮膚に対して
5%、4 時間でsevere necrosis(ACGIH,7th,2001;PATTY,5th,2001)を
引き起こすことから区分１A とした
成分についての情報：ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｾｶﾝﾀﾞﾘｰｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ
ヒトパッチテスト：陰性(0.6%水溶液、24 時間、開放式)
皮膚一次刺激性：弱刺激性を有する(家兎、20%水溶液、24 時間)
以上のデータから総合的に判断して、区分３とした。

眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性 製品についての情報　：　製品についての情報：つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：水酸化ナトリウム
ヒト眼に対して severe,serious hazard を引き起こす
(ACGIH,7th,2001; PATTY,5th,2001)。ウサギ眼に対して 1.2%以上
で corrosive を引き起こす (SIDS,2002) ことより区分１とした。
成分についての情報：ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｾｶﾝﾀﾞﾘｰｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ
眼粘膜刺激性：陽性(家兎、20%水溶液、非洗眼判定)のデータが
あることか ら、区分1A とした。

呼吸器感作性　：製品についての情報：つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：情報なし

皮膚感作性　：製品についての情報：つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：情報なし

生殖細胞変異原性　：製品についての情報：つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｾｶﾝﾀﾞﾘｰｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ
微生物を用いた復帰変異原性試験では陰性との報告があることから、
区分外とした。

発がん性　：製品についての情報：つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：情報なし

生殖毒性　：　つなぎの法則により、区分1Bとした。

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）　：　つなぎの法則により、区分2とした。
成分についての情報：水酸化ナトリウム
ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こす(SIDS, 2002; ACGIH, 7th, 2001; DFGOT vol.12, 1999; PATTY 5th, 2001)ことより
区分１(呼吸器系)と した。

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）　：つなぎの法則により、分類できないとした。

１２．環境影響情報

生態毒性

水生環境急性有害性　：　つなぎの法則により、区分３とした。

水生環境慢性有害性　：　つなぎの法則により、分類できないとした。
成分についての情報：水酸化ナトリウム
強アルカリ性のため水生生物に有害な影響を与える可能性がある
ことか ら水生生物に有害(区分３)とした。
甲殻類(ネコゼミジンコ属)：48 時間 LC50=40.4mg/L(SIDS,2004)

残留性・分解性　：　データなし。

生態蓄積性　：　データなし。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：　産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物として委託し処理すること。
環境中に放出する場合は、 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および
中和等の処理を行って危険有 害性のレベルを低い状態にし、法的基準を
満たしていることを確認してから行う。

汚染容器及び包装　　：　容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

１４．輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報　：　該当しない。

海上規制情報　：　船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報　：　航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件　：　容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。
転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
他の危険物のそばに積載しない。

１５．適用法令

労働安全衛生法　：　第57 条の2、施行令第18 条の2 通知対象物（水酸化ナトリウム）
労働安全衛生規則第326 条（水酸化ナトリウム）

PRTR法　：　第一種 407号 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル 基の炭素数が１２から１５までのもの及びその混合物に限る。)

毒物および劇物取締法　：　該当しない

消防法　：　該当しない

船舶安全法　：　危規則第2, 3 条危険物告示別表第1（腐食性物質）

航空法　：　施行規則第194 条危険物告示別表第1（腐食性物質）

海洋汚染防止法　：　施行令別表第 1 有害液体物質（Ｙ類）（水酸化ナトリウム）

１６．その他

引用文献　13901 の化学商品（化学工業日報社）
国際化学物質安全性カード（ICSC）

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありません。
何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。